



〈表紙写真〉

【勝連城跡】

(うるま市)



ユネスコ世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして認定されているのが、うるま市にある勝連城跡です。石灰岩の石垣は地形にあわせて滑らかな曲線で作られており、本土のお城とは違った趣が感じられます。

また、沖縄本島中部の高台に位置していることから、太平洋に面した中城湾を一望することができ、遠くは沖縄本島南部の知念半島まで見渡すことができるため、その眺めは格別です。

人気の観光スポットにもなっておりますので、まだ訪れたことがない方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

群星 【むりぶし】 Muribushi C O N T E N T S

01 就任の御挨拶 内閣府特命担当大臣 馬淵 澄夫

02 プロフィール 内閣府特命担当大臣 馬淵 澄夫
内閣府副大臣 末松 義規

03 地域が目 「沖縄から、新しい関節義肢の確立をめざして」
株式会社佐喜眞義肢 代表取締役 佐喜眞 保

特集

04 農林水産部 「米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律」(米トレーサビリティ法)の施行について

06 仕事の窓① 財務部 第26回法人企業景気予測調査

08 仕事の窓② 総務部 沖縄総合事務局防災訓練(地震・津波)の実施について

09 仕事の窓③ 農林水産部 沖縄総合事務局農林水産部の組織再編について

10 仕事の窓④ 経済産業部 「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が決定されました。

11 仕事の窓⑤ 経済産業部 11月は伝統的工芸品月間です。

12 仕事の窓⑥ 運輸部 ビジット・ジャパン(VJ)に関する企画提案募集説明会及びマーケット研究会

13 仕事の窓⑦ 運輸部 石垣〜波照間航路に高速旅客船「ばいばていろうーま」就航

仕事の窓

局の動き

14 総務部 公正で自由な競争が、事業者と消費者を守っています
財務部 「我が国金融システムを巡る状況と金融行政の諸課題」

15 農林水産部 沖縄における農商工連携推進パネル展を開催
特別展示「知ろう！見つけよう！バイオマス」

16 農林水産部 出張講座「口蹄疫発生と国産食肉の安全安心を考える」
開発建設部 「港湾空港技術地域特別講演会in沖縄2010」を開催

17 運輸部 「平成21年度国土交通白書説明会」開催
平成22年度船員労働安全衛生月間の実施

18 なかゆくい シリーズ④ 見どころ満載！ダムめぐり！

20 内閣府だより 国際シンポジウム「沖縄における知的・産業クラスターの形成を目指して」

21 お知らせ

沖縄の通貨 あれこれ！

#3



ドルショックと通貨確認

1972年5月15日、沖縄は本土復帰を果たし、27年間にわたるアメリカ統治に終止符を打ちました。この復帰を境に、沖縄の通貨もドルから現在使用している円に切り替わりました。今回はその復帰の前年に起こったドルショックと通貨確認のお話をしたいと思います。

本土復帰を翌年に控えた71年8月15日、突然、ドルと金の交換停止が宣言され、国際為替レートが「変動相場制」へ移行、交換比率が1ドル=360円から308円に下落することになりました(いわゆるドルショック)。復帰とともにドルから円への切り替えを行わなければならない沖縄県民にとって、1ドルにつき50円近くの資産が目減りし到底容認できるものではありませんでした。そのため、各市町村議会では、「早く円・ドル切り替えを」との決議が相次ぎ、また、9月1日には与儀公園に3万人が集まり、「ドル危機県民大会」が開かれるなど、通貨不安はピークに達しました。

為替レートの下落による財産損失の完全補償を求める県民世論の高まりを受けて、琉球政府と日本政府が折衝を行った結果、同年10月9日時点で個人が保有しているドルについて確認し、確認されたドルだけを為替レート下落後も360円で補償することが決定されました。その決定を受け、金融検査庁(財務部の前身)などで構成する通貨確認臨時対策本部のもと、各金融機関等(357か所)において、個人が保有するドル通貨の確認作業が10月9日一斉に行われました。

通貨の確認は、①個人が金種ごとに記入した「呈示票」を現金と一緒に呈示、②金融機関は現金を確認し、呈示票に証紙を貼るほか、現金(ドル紙幣のみ)に押印し、再度呈示が出来なくなつたうえで個人に返却する方法で行われました。当初、ドル紙幣には「祝復帰」の押印をする予定でしたが、確認日の前日、突然米国政府からクレームがついたため、急遽、どこの金融機関にもある鉛筆の消しゴム部分を使って押印する方法に変更するなど、苦労も多かったようです。また、呈示票に貼る証紙には、通貨確認のためだけに印刷された琉球切手の「カンピラの滝」(西表)が使われましたが、切手としては使用されなかったため、「幻の切手」として高額で買い集められるという現象まで起きました。

この通貨確認で確認された現金の合計は6,188万ドル(約220億円)、一世帯当たり277ドルでした。



金融機関での通貨確認の様様

★本誌タイトルについて★

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昴星(すばる)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれています。